

(様式第1号)

平成30年度 第1回 芦屋市女性活躍推進会議 会議録

日 時	平成30年8月7日(火) 13:30~15:20
場 所	男女共同参画センター セミナー室
出 席 者	会 長 柳屋 孝安 副 会 長 萩原 紫津子 委 員 木村 祐子, 佐藤 洋子, 小川 正和, 村澤 誠子, 橋野 浩美, 濱上 幸代, 甲斐 幸美, 北村 孝一, 絹川 容子, 森田 昭弘 (敬称略) 事 務 局 佐藤副市長, 長岡主幹, 福島課長, 前川係長, 林主査, 桐山課員
事 務 局	男女共同参画推進課
会議の公開	■ 公 開
傍 聴 者 数	0 人

1 会議次第

- (1) 委嘱式
- (2) 副市長あいさつ
- (3) 開会
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議事

ア 平成30年度女性活躍の取組について

イ 『女性が輝くまち芦屋』プロジェクトについて

(6) その他

2 提出資料

会議次第

芦屋市女性活躍推進事業実績報告(資料1)

ASHIYA RESUME(資料2)

ASHIYA RESUMEアクションイメージ(資料3)

ASHIYA RESUMEプロジェクトの全体像(資料4)

旧宮塚町住宅見学会・市民ワークショップ開催チラシ

3 審議経過

- (1) 委嘱式
- (2) 副市長あいさつ
- (3) 開会
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議事

柳屋会長：次第に沿って、(1) 平成30年度女性活躍の取組について事務局から説明いただきたいと思います。

事務局／林：平成30年度女性活躍の取組について配布資料1を見ながら説明。

柳屋会長：まだ半年ほど経ったところですが、すでに実施したものについての説明、新しいこれからの講座についての報告がありました。なにかご質問はございませんか。
内容は同じだが去年より増えたとか減ったとかお話いただける部分がありますか。

事務局／林：まだ4講座しか開催していないので実績としては難しいのですが、⑤にあります「パステルアートを描いてみよう」の講座は、活躍の場の提供ということで実施するもので、講師が、昨年実施した女性起業家支援市民企画講座の受講生です。講師は3色パステルアート認定インストラクターのかたで、パステルアートを使って親と小学生を対象に今8組の定員に対し10組の申し込みがあります。夏休みの時期でもあるので楽しめる講座を実施するものです。他の講座は、まだ申し込みが始まっていないのでまだわかりません。

柳屋会長：そのほかご意見などありましたらどうぞ。こんな講座をやってもらったらいいとか、この講座はどんなことしているのかなどありましたらどうぞ。

萩原委員：チャレンジ相談で去年あたりから起業相談が増えています。具体的にこれを行っているとかこれをやっていきたいなど、自分でチラシを作ってこのくらいの金額でこのメニューでやっていきたいというかたが増えています。日本政策金融公庫に融資をお願いしてなどのところまでは行っていませんが、第一歩としてやっていきたいかたが増えている感触があります。そういったかたたちに次のステップとして今お話のあったパステルアートの講座といった場の提供がいただけるとか、そういった場があれば次のステップにつながりやすいと思います。リードあしやなどの場もありますが、そういった機会が網羅的にわかるものがあれば、年間計画として受け皿のあるなどの情報があれば相談時に案内しやすいのでご検討いただき

たい。

甲斐委員：ペーパーアートをやっていますが、同じような悩みをリアルに聞いたのですが、パソコン講座のwordやExcelの講座ももちろんですが、今みんなが気になっているのは、どこで広告を打つか、SNSの使い方がわからないというところで、私はアメブロを使っているのですが、最近アメブロが仕事として使えるようになりました。

今までは、値段を書いてはいけないなどあったが、値段を書いてもよくなったり、アメブロも企業に使ってもらえるようになってきている。フェイスブックやアメブロの違いやお友だちに提供しているのか、仕事として提供できるものなのか、ママたちはチラシを配るイメージがなく今はSNSでどう広げるかなどを重視しているの、その使い方がわからないという声が出ています。そのような講座をしてもらえると一人でもがんばっていけるとか、自分がやっていることを広げていけるなどツールを持っているのに使い方がわからないというところの講座があれば便利だと思う。

事務局／林：ご意見ありがとうございます。芦屋リジュームをご案内できると思います。

柳屋会長：ほかにありますでしょうか。

村澤委員：先日PTA協議会で講座を開催しました。皆さんが持っているスマホでどんなふうに写真を撮ればキレイに写真を撮れるかという講座を持っているカメラを使って写真館のかたにいただきました。身近なものできれいに撮れるコツやSNSにあげるコツなど反響がよくて200人近くの参加があり、スマートフォンなど身近なものの講座の開催も興味がありおもしろいと思います。

事務局／林：2回講座でSNSと写真の講座をするのもおもしろいと思います。

森田委員：村澤委員のお話で200人ほどこられたということですが、今後の予定の事業の中で、きている人には好評ですが、キャパが少ないですね。例えば、パソコン講座も定員12人と参加した人にはかなり入り込んだ講座の内容だと思うのですが、間口を広げる意味ではもう一ケタの参加が欲しいと思います。スマホでの写真の撮り方など内容が簡単な講座で200人きていただけるということで間口は広がる気がします。パソコンもスマホも最初の導入部分がわかれば自分で触っているうちにわかってくるので、最初から完璧なカリキュラムを考えずに導入部分で間口を広げるなどの両方の取組が必要だと思う。会場のキャパもあるが定員が少なくせつかなのにさびしい。その人たちにしか届いていないのがもどかしい。

柳屋会長：講座の開催もキャパがうまくいかないのであれば頻度を増やすなど今後、工夫が必要ですね。

事務局／林：今はこのセミナー室で開催していますが、1月には移転します。部屋も大きくなりますので、人数の調整も考えております。

柳屋会長：「パステルアートを描いてみよう」の講座を入口にしながら起業につなげていくなどの企画や、SNSや写真などをきっかけに起業に向かっていくなどの企画を増やしていくのもひとつの方法だと思います。
この機会だけでなくお気づきになりましたら事務局にいろいろなお提案くださればと思います。
次に「女性が輝くまち芦屋プロジェクト」についてご説明ください。

事務局／長岡：「女性が輝くまち芦屋プロジェクト」について資料2を見ながら説明。

柳屋会長：ひととおり説明をいただきましたが、確認やご意見はございますか。

木村委員：宮塚町住宅は前から興味があり、どうするのかなと思っていました。
建物は全部残すのですか。

事務局／長岡：残します。2階建て石造りの40㎡弱の8部屋です。

木村委員：庭も広くそこもすべてですか。

事務局／長岡：北側の建物は壊しましたが、他のものはこのままです。
そのあとはこれから考えることになります。

木村委員：立地もよく広い敷地でいろいろな世代の人が集まれるし子どもも高齢者も安全に使える、このロケーションはすごくいいと思う。見学会はぜひ参加します。

甲斐委員：参加は、一般でもできますか。

事務局／長岡：はいできます。

橋野委員：申し込みは必要ですか。

木村委員：ワークショップは目的のある方が参加でしょうが、見学会に関しては興味のある市民や希望を持っている市民や関係者なら参加できるということですか。

事務局／長岡：このチラシの裏面に申込用紙があります。
(チラシを見ながら申込方法を説明)

森田委員：ワークショップ30人，見学会25人はさびしいなあ。

事務局／長岡：見学会は，何人でもできます。

柳屋会長：このチラシにもありますが，対応ができるようお考えいただけたらと思います。今回初めてのかたもおられますので，「芦屋リジューム」の意味をご説明ください。

事務局／長岡：「リジューム」とは「レジメ」が語源で履歴書や再出発の意味があります。女性が再び仕事に就きたいなどから「リジューム」ということばをあてています。

柳屋会長：芦屋在住の女性が起業等して復活というイメージですか。
芦屋の地を利用してというイメージですね。事業として講座をされていますが，芦屋の地を利用してという直接関係のないいろいろな方々がパソコンなどの講座に参加されますが，「芦屋リジューム」は宮塚町住宅を利用してもらう事業として，すみわけがされているのですか。

事務局／長岡：重複している部分もありますが，「芦屋リジューム」は3年間継続した事業として考えており，センター講座は主として単発講座で，その講座ごとで考えています。
センター講座は，講座受講のその後を追うことをしていませんが，「芦屋リジューム」は3年間継続の事業なので，原則登録されたかたを段階を追って支援することとしています。

柳屋会長：起業に結びつく段階まで見守っていきましょうということですね。

事務局／長岡：起業も再就労も地域活動もなっています。地域活動の支援がなかなかできていないのが，現状です。意識調査をしたときに起業を志すかたが多かったのが，起業に特化したかたたちに現在なっています。

佐藤委員：山崎亮さんに入っていていただいて，住吉・東灘のエリアを拠点に地域のかたが地域の特性を生かしたりや，困りごとを解決するなど地域のかたとコープの職員とが連携して「こえるば」としてやっていました。女性の活躍推進としてではなく，宮塚町にお住いのかたたちが地域の中で何かを起こす，コミュニティを作るなどの場に山崎亮さんが関わるとそうなるような気がします。

事務局／長岡：山崎亮さんが加わっているのは、今年度からですが、芦屋市の市民参画アドバイザーとしてです。今回のワークショップは市民参画の視点でということでやっていくことになっています。芦屋リジュームも国の地方創生推進交付金を利用していますので、芦屋市を盛り上げていく意味があります。JR芦屋駅あたりから宮塚町も含めたあたりを一つのエリアと捉えて、芦屋市は住宅都市なので「商」に力を入れているイメージがなく、これからの時代はITの進歩により出勤しなくても仕事ができるなど、芦屋市として交通の便がよいという利点の価値が下がる方向になることもあり、今までどおりのことでなく、違う方向から芦屋の魅力を発信しましょうというプロジェクトにもなっています。女性が活躍するのは大きな目標のひとつではありますが、女性が活躍して元気になって、その地域が元気になっていくことのひとつの拠点ということで、宮塚町住宅があります。まちづくりも関係している事業です。

森田委員：役所は基本縦割りで仕事をしますが、この事業はそうならないので、どこが芯を取っているかがわかりにくくなっています。

地方創生の絡みでJR芦屋駅からその一帯のエリアブランディングの中で旧宮塚町住宅を核にして、何かをやろうとなりました。活用の方法として市民参画の手法を使いワークショップを行い、ここに女性活躍の課題がでているのでそれも併せてやりましょうとなりました。複合的なものです。チラシに男女共同参画推進課の名前だけが出ていますが、女性活躍推進だけの取組ではないです。

木村委員：きっかけはここですね。

森田委員：相乗りとなっています。

佐藤委員：そういうことでこうなっているんですね。

森田委員：エリアブランディングが基礎になり、活用方法については市民参画の手法を使いとなっています。ワークショップで活用の仕方を決めます。

小川委員：この場所を市が持っているが、どう活用していくかということですね。

木村委員：市民の意見をあつめるのはどうやって。

森田委員：それがこのワークショップです。

木村委員：このワークショップは何かしたいとか、創業したいとかNPOを立ち上げたいというかたに集まってほしいということですか。

事務局／長岡：一般の市民のかたに集まっていただいてもいいですし、もちろんリジュームに登録したかたには参加していただきたいという意向もあります。ウェブサイトでも発信します。

木村委員：私がリジュームに登録できますか。

事務局／長岡：できます。創業されていて、すでにご活躍されていますが、先輩の立場で関わっていただければと思います。甲斐さんもリジュームに関わっていただいています。

木村委員：ものすごく興味あるんです。

柳屋会長：「芦屋リジューム」とは女性活躍推進のことばですか、それとも芦屋再生ということですか。

事務局／長岡：「芦屋リジューム」とはソフト面で活躍したいと思っている女性たちを支援する事業の名称です。

濱上委員：西宮友の会の母体は公益財団法人として活動していますが、利益を追求した活動はいろんな意味でネックがあります。公益財団法人というのはここに関わることはできますか。

事務局／長岡：関わっていただけます。

濱上委員：起業するとか自己実現だとか自立をめざしていくというところで非常に力を入れているような印象を受けますが、利益を伴うことに制限がある団体としては、これは疑問に思うのですが。

事務局／長岡：支援する側として関わっていただくことは問題ないと思います。起業したいけれど、どうしていいかわからないや、何をしたいかわからないかたにまず気づいてもらうことを支援として行っていきますので、それに関するアドバイスなど、活躍の場の提案などしていただけるのではないかと思います。

濱上委員：ワーク・ライフ・バランスのライフに関する活動をしています。

森田委員：今のお尋ねは芦屋リジュームに公益財団法人として登録できるかどうかということですね。

濱上委員：そういうことです。利益を生み出す団体でもなく、起業をめざす団体でも

ないので。

事務局／長岡：登録していただくのは基本個人のかたですが，市内の事業所であったり団体であったり非営利活動法人であったり，協力者として登録していただけます。活動の中には，収益があるということではない活動もあると思いますし，この事業の対象者も利益が伴うものだけではありません。

濱上委員：それに事業ということばを使われるので収益が目的なのかと思います。

事務局／長岡：役所は事務事業ということを行います。収益事業ではありません。

柳屋会長：その他ございませんか。

村澤委員：PTAの代表として出席していますが，吸収したことを持ち帰ってみなさんにお伝えすることを求められているのでしょうか。

事務局／長岡：この会議は，推進することを中心的になっていただきたいということがありますので，このような事業を可能な限りぜひPRしていただければありがたいと思っています。チラシが必要であればご用意します。

柳屋会長：もし説明にきていただきたいとなればいかがですか。

事務局／長岡：ご説明にうかがいます。

柳屋会長：この機会になにかうかがいたいことはございませんか。

萩原委員：芦屋リジュームの登録は無料会員登録ということですか。事業者ということとは関係なく個人名で登録し，その後情報がもらえるということですね。

濱上委員：団体名での登録はいかがでしょうか。

事務局／長岡：支援される側でなければ，その登録とは別になると思いますが，ご連絡いただければ，お伝えいたします。

柳屋会長：そのあたり正確なところをまたご検討いただきお知らせください。

小川委員：会社も芦屋リジュームのメンバーということですか。

事務局／長岡：ウェブで登録とは別に個別にお声掛けさせていただいたりします。

小川委員：推進する側もメンバーになっているということですね。

事務局／長岡：事業所向けのイベントもありますので、事前をお願いしてきていただいたりすることもあります。

柳屋会長：このイベントに関しては、委員の皆さんもぜひ広報をお願いしたいと思います。本日の議題はこの2つになりますが、事務局からほかにありますか。

事務局／長岡：今回の会議のご案内の欄外で少しお願いしておりました、芦屋市と連携・共催など講座やイベントなどなにか女性活躍ということで芦屋市といっしょにできることがありましたらお知らせくださればと思います。イベントに関するチラシもできあがりましたらお送りさせていただきたいと思っています。枚数などお知らせください。

柳屋会長：この女性活躍推進会議は毎月開催ということではないので、次回はいつごろになりますか。

事務局／長岡：定例の会議は年明けになると思います。

柳屋会長：皆さんに集まっていただいて頻繁に意見を交わすことがないので、日ごろお気づきのことがありましたらこの機会にお知らせください。

小川委員：10月25日（木）に創業まもない女性経営者を集めて、女性経営者の先輩によるパネルディスカッションを開催します。チラシができましたらご案内します。女性経営者を集めようと思っても情報が行きわたらずなかなか集まらないのですが、50人ほど集めての会を開催したいと思います。

柳屋会長：ほかにございませんか。それでは本日の会議を終了させていただきます。